

# 一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

## 令和元年度第6回 理事会 議事録

令和元年 10月17日(木)12:10～13:10

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

パシフィコ横浜 会議センター4F 419

【出席した理事】大川 淳、川上 守、西良浩一、島田洋一、高相晶士、種市 洋、千葉一裕、  
永島英樹、中村博亮、中村雅也、長谷川和宏、松山幸弘、山下敏彦、山田 宏

【欠席した理事】前田 健、渡辺雅彦

【出席した監事】加藤文彦、小西宏昭

【議事の経過の要領及びその結果】 中村博亮理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

### 審議・決議事項

#### 1. メンバーシップ・コンプライアンス委員会より：会員審査7-9月分【資料1】

島田理事が、7～9月の入退会について委員会では全員承認であった旨報告し、決議を求めた。一同検討の結果承認した。

#### 2. 学術集会会場で購入した抄録代未払いの会員について【資料2】

大川理事が、4月の学術集会で抄録集(2,160円税込)を購入したものの、代金未払いのままの会員が1名いるとして氏名と所属を示した。理事のひとりが自施設の医局員であるとして責任をもって対応することになった。

#### 3. その他

とくになし。

### 審議・報告事項

#### 1. 大正 AWARD 選考委員の件【資料3】

松山副理事長が、今年度の大正 AWARD の選考委員候補をリストとして提示した。一同査収し疑義はとくになかった。

#### 2. JSR 編集委員会より：

##### JSR オンライン化スケジュール up-date【別添資料1】

長谷川理事が、2020年1月号からのJSR オンライン化について、前回理事会以降アップデートされ

た進行予定を提示し、順調に進んでいる旨報告した。

### **オンライン化に伴う JSR 投稿規程変更【別添資料 2】**

長谷川理事が、JSR の投稿規程の変更について資料を提示し、二重投稿については投稿規程のなかに明確に示すことを説明した。

### **JSR3 号(抄録号)について**

長谷川理事が、以下の再確認をもとめた。

1) 2020 年 3 月と 2021 年 3 月の抄録号(松山会長・根尾会長の学術集会)は、従来通り 4000 部ずつ印刷する。紙媒体の形式をとらなくなるのは、2022 年 3 月の抄録号(中村雅也会長の学術集会)からである。

2) JSR の広告について、通常号は web 化するため、これまで JSR 編集委員会内で行ってきた紙媒体の広告を集める作業は行わず、学術集会側において抄録号用に広告を集める。

3) アプリはどうかについては、学術集会側に一任。

4) 『JSR』同様の学会公式ジャーナル『SSRR』では、バナー広告を募集し、2 件を掲載している。同様に『JSR』の web のバナー広告に関しても審議を行い、一同掲載に同意した。ただし、件数上限については、現時点では決定しないことになった。

### **3. データベース委員会より：頸椎人工椎間板及び OLIF51 のレジストリについて【資料 4】**

種市理事が、データベース委員会で行っている各レジストリの進捗状況について報告した。

ACR・胸椎 XLIF・・・プロクター施設での登録期限は終わったが、2 年間で 13 例のみの登録であった。一般に登録を広める際には、現在のガイドラインを改定する予定。あわせて、種市理事が現在使用をストップしている ACR について、再開許可を求め、一同検討の結果承認した。

頸椎人工椎間板・・・現在はプロクター施設にて実施。7 症例が集まっている。なるべくリアルタイムで集めたい。

OLIF51・・・「全例登録」を前提に承認された技術であり、現在 9 症例が施行済み。

### **4. 国際委員会より：**

#### **4/27-5/1:Spine week について【資料 5】**

中村雅也理事が、SPINE WEEK でのセッション発表内容を報告した。波呂委員と松山副理事長の 2 名が Chair で、5 題ずつを発表予定。

### **APSS2020 (上海、6/5-7) における指定演題の候補者について【別添資料 3】**

中村雅也理事が、E メール理事会でも意見を募った「APSS2020 の指定演題候補」について報告した。最終的には先方の学会の採択によると説明した。

### **5. 新技術評価検証委員会より：**

#### **2019 年第 2 回委員会報告【資料 6】**

中村雅也理事が、7月28日の委員会およびメール会議の内容を報告した。

コントリャーゼ導入については、JSSR 指導医か NSJ 指導医または認定医のいる施設での実施に限られるが、それらの先生方の外勤先についても文書で申請すれば可能となった。

#### ACR. 胸椎 XLIF 頸椎人工椎間板ガイドラインの HP 掲載について【別添資料 4】

種市理事が、ACR. 胸椎 XLIF 頸椎人工椎間板ガイドラインについて、学会ホームページに掲載したいと提起した。

山下理事が、以前すでに新技術評価検証委員会の岩崎委員長から依頼があったため、この理事会後に掲載することになっていると説明した。

#### 6. 広報委員会より：新ホームページの公開について

山下理事が、新ホームページが8月28日から公開されたことを報告した。バナー広告は2件のみのため、さらに増やしたほうが良いとして、現在の趣意書送付先リストを事務局から山下理事へ送ることになった。

#### 7. その他

##### ・診断評価等基準委員会より：iPad 専用アプリ「JOABPEQ/JOACMEQ」アプリ更新費の件

川上理事が、現在運用中の iPad 専用アプリ「JOABPEQ/JOACMEQ」について、Apple 社よりプログラムを継続利用する際に維持費がかかると連絡があり、サドラー・ジャパン社から2万円(税別)の見積が示され委員会で検討し、継続が承認されたと報告した。

##### ・E 理事会報告(参考)

一同査収した。

##### ・日本臨床生理学会術中脊髄モニタリング分野の認定医・認定技師創設の件

松山副理事長が、日整会から日本臨床神経生理学会(JSCP)に対して、提案された資格制度に関して賛同しかねる旨回答したとの説明がなされた。

議論のすえ、まずホームページに JSCP の行っている標記の認定と本学会は無関係であることを明示し、本学会で行ってきた脊髄モニタリング研修会の概要や資格認定に関する情報を掲示することを一同賛成した。また、日本脊髄外科学会と緊密に情報交換をしたうえで、新資格制度の設立を検討することとなった。さらに、行政側にも健康保険上の取り扱いについて確認することになった。

以上

令和元年 10月 17日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 中村博亮

監事 加藤文彦

監事 小西宏昭